

いなべ市総合計画審議会 会議録

会議名	平成30年度いなべ市総合計画審議会（第3回進捗管理）
開催日時	平成30年8月7日（火）14:00～15:30
開催場所	いなべ市役所員弁庁舎東館第7会議室
出席者	<p>【委員】7名（欠席1名：中澤政直） 丸山康人、小澤和茂、門脇よしゑ、伊藤久子、川瀬正幸、横井健二、川添将美</p> <p>【事務局】15名 副市長、総務部長、企画部長、都市整備部長、市民部長、環境部長、福祉部長、健康こども部長、農林商工部長、建設部長、水道部長、教育部長、政策課長及び政策課職員2名</p> <p>【オブザーバー】1名 ジャパンインターナショナル総合研究所</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 副市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長あいさつ 5. 説明および審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・いなべ市総合計画・総合戦略事業取組経過報告について 6. 意見交換 7. 閉会
配布資料	資料 平成29年度 総合計画・総合戦略事業取組経過報告書（地方創生関連 交付金事業取組経過報告書）
公開、 非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	

<p>1. 開会</p> <p>2. 副市長あいさつ 総合計画審議会（進捗管理）は3回目となる。皆様には日頃からご協力を賜り感謝する。平成27年度から総合戦略、平成28年度からは第2次総合計画が始まっている。本市の地方創生も着々と進んでおり、少しずつ成果も出ている。皆様のご意見を頂きながらより一層推進していく。</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 会長あいさつ この会議がより良いものとなるよう、会をまとめさせて頂く。では、事項書にそって会議を進めたい。事務局より資料の説明をお願いする。</p>
--

5. 説明および審議事項

資料「平成29年度 総合計画・総合戦略事業取組経過報告書（地方創生関連交付金事業取組経過報告書）」について、事務局及び関連部局より説明。

6. 意見交換

【会長】

本日も欠席の中澤副会長から事前にご意見を3点ほど頂いているので紹介する。

まず、1点目。資料P5の「判定不能」の指標については、今後こういった形で評価を行うのかということだが、事務局はどう考えているのか。

【説明者】

P28、29の4-12 社会保障制度の健全で円滑な運営、③社会保険診療報酬支払基金納付金等支払』及び後『期高齢者医療支援金及び介護納付金の2つの指標については、毎年決められた金額を支払うもので、努力できる部分がないため評価できない指標となっている。今後は前年度支払い実績等を参考に、事務局と協議し、評価の方法を検証したい。

【事務局】

他にも、現時点で評価ができない指標がある。時期の問題で、まだ数値が出ない指標があるため、別途実施している行政評価等も含めて評価していく。また、活動内容欄にそうした旨を記載するようにする。

【会長】

今回判定不能の指標についても評価は行っていくということである。

では、2点目。目標達成度が極端に高い項目があるがこの点をどう考えるかという意見だがいかがか。

【事務局】

例えば、P13のグリーン・ツーリズムのコンテンツ開発件数は達成率が300%となっている。この指標は目標が2件と少なかったところに、6件という結果が出たため、極端に高い割合となった。こうした指標については、数値だけを見れば目標達成といえるが、各事業を取り巻く環境の変化もふまえて内容を精査し、必要に応じて指標の上方修正又は本当に目標を達成したということであればコスト面も含め事業の在り方を検討するといったことが必要だと考える。

【会長】

事業の性格や指標の分母の大きさにもよるため、指標のみにとらわれずに事業の本来の目的も考慮して検討してほしい。

【事務局】

会長のおっしゃるとおり、目標となる指標が「1」という事業もある。この結果が「0」であれば、指標で見ると達成度0%となってしまうこともある。

【会長】

事業の達成については「%」のみでは測れないこともある。数値目標は関わる人々の合意形成などには効果がある。もちろん数値目標を達成するのは良いことでもあるが、それが全てではない。事業の内容が重要である。

では、3点目。D判定（※70%未満「進まなかった」）となった事業は本当に必要な事業なのかという意見だが、事務局はどう考えるか。

【事務局】

事務事業評価等も含めて各部局で総合的に判断していくことになる。

【会長】

できない事業を続けても意味はない。本日の意見を参考にして、今後どう取り扱っていくのか検討してほしい。

【委員】

P9の総合戦略の評価をみると全体的には及第点だと思う。

4.暮らし創生プロジェクトの指標にある「まちへの愛着度」の調査を平成31年度に実施予定ということだが、各分野の評価も踏まえたものにしてほしい。

【事務局】

各施策に対する市民の声も調査する予定であり、総合的に評価できるようにする。

【委員】

参加者数が指標になっているものがあるが、市内の人か市外の人かもわかると良い。

また、生活困窮者の相談件数の指標については、増加を目指すということには疑問を感じる。相談体制の充実が大切。

【会長】

幾つかご意見を頂いた。指標の設定は難しい。指標からは事業の一部しか見えないこともある。事業効果の実態をしっかりと捉えることが大切である。指標を補うために「活動内容等」の欄に文章で補完することを心掛けてほしい。一方、数値化することで内外の人が共通で見ることができるという効果がある。こうした指標の特性をふまえて上手に活用してほしい。

では、今後について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

本日ご審議頂いた内容は、9月議会の議員説明会で報告するとともに来年度の総合戦略、総合計画の策定に活かしていく。

7. 閉会

その他事項

無し